



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2022年05月30日 第1070号「週刊五十嵐レポート」

R、エリア絞り戦力集中

5月28日付朝日新聞の「ウクライナ侵攻」記事。

ロシア軍は序盤戦で首都キーウの攻略に失敗した後、東部に戦力を回したものの戦線は膠着状態。ロシア軍は当初、『ドンバス地方全体』を南北から切り取るように、『一気に』包囲する狙いだった。北はハルキウから南下、南はマリウポリから北上することで、東部のウクライナ軍を囲い込む計画。だがウクライナ軍の抵抗を受け進軍は停滞。

そこでより『小規模なエリア』に狙いを絞り、『少しずつ』支配地域を広げる作戦に転換した。ロシア軍が攻勢をかけているセベロドネツク周辺はドンバス地方の『ごく一部』。ロシア側支配地域に『隣接するエリア』に集中することで数で優位に立つロシア軍が徐々に前進している。

ロシア軍は強者、ウクライナ軍は弱者。当初、ロシア軍は短期決戦を考え、首都キーウを攻めたが、ウクライナ軍の予想以上の善戦に当初の目的はほとんど挫いた。強者の戦略で失敗した。次に東部ドンバス地方でも一気に全体制圧をしようとして、二正面作戦をしたがうまく行っていない。これも強者の戦略。

今度は、ドンバス地方を細分化して、ロシア側支配地域に隣接する地区から一つひとつ落としつついった。この作戦は一気にには行けず、長期間必要になる。これは弱者の戦略。これがうまく行っている。

戦略は元々「軍事用語」、経営に応用して「経営戦略」という言葉が生まれた。兵器が著しく発達しても、派手な(空中戦)強者の戦略より地味な(地上戦)弱者の戦略が有効であるというのは驚きである。ロシアの作戦は、ランチェスター経営で言うと、「陶山訥庵の猪全滅作戦」。長崎県対馬の2万頭の猪を対馬を9つに分け、9年かけて全滅させた「地域戦略」。

経営に戻すと、小さな会社にとって、強者の戦略はやってはいけない。身を亡ぼす。小さな会社は、小規模エリア(もすくは分野・商品)を集中して、少しずつ顧客を開拓して、顧客の密集度を高める。長期間かけて強いもの作り、一番作りをしていく。くれぐれも一気にとは行かないこと。

ロシアが弱者の戦略をしたら、長期戦になる。世界には、良い事ではない。

ちょっと
気になる出来事

5月25日付日経新聞「変わるか、安いニッポン3」は「優等生と呼ばないで」。「物価の優等生なんて呼ばないでほしい」と、もやし生産会社の社長はぼやく。生産コストの上昇が重い。コスト増を出荷価格に転化すべく2月から取引先と交渉しているが受け入れは一部にとどまる。

もやしの主原料の緑豆は8~9割を中国から輸入。中国農家はより高く売れるトウモロコシなどへ転作を進めてきた。供給が減り、価格は跳ね上がり、緑豆の国内卸値は約2割値上がった。トウモロコシの輸出大国であるウクライナがロシアの侵攻を受け、トウモロコシ相場はさらに2割上昇。トウモロコシへの転作が加速し、供給の細った緑豆代が上がればもやしの生産は難しくなる。

安くもやしを食べられなくなるのは、残念だが、もやしを生産できなくなり、もやしが無くなるのはもっと残念。

もやし生産会社に発想の転換を期待したい。今のように卸売業者や量販店向けの営業から自力でエンド顧客を開拓する直販にシフトしていく。今は価格決定権は買い手にある。自らが価格決定権者にならないと利益は出ない。ビジネスは商品3分に売り7分。顧客を持つことが本当の資産価値。



一口メモ
知識

陰の徳

牝馬(ひんば)の貞に利(よ)ろし。牝馬は地の類、地を行くこと疆(かぎり)なし。

陰陽の徳を象徴する生き物のうち、陽は天を翔(かけ)る龍により表される。それに対して、地を行く牝馬は陰の徳である「従順」の象徴となる。

牝馬は牡馬(ぼば)よりずっと従順である。

「貞(てい)に利(よ)ろし」とは従うべき時は正しく、堅く徹底的に従うこと。そうすることで限りない力が発揮できる。

見せかけの面従腹背(めんじゅうふくはい)や、強い者に諂(へつら)うことは陰の徳ではない。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

榊五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

